



第86号 2022年(令和4年)9月1日 法政大学経済学部同窓会(略称 法政経友会)

発行人：村田紀敏(同窓会会長)／編集人：執行部編集委員会
〒194-0298 東京都町田市相原町4342 法政大学経済学部研究棟4階420号室
電話・FAX 042-783-2550 <http://www.hoseikeiyukai.jp/>
郵便振替口座001706-602070 三菱UFJ銀行橋本支店普通口座0166670
*事務局の開設日時は、火曜日と金曜日の9:30～15:30です

本会は、会員相互の親睦をはかり、経済学部および母校の発展ならびに社会・文教の進歩に寄与することを目的とする。(同窓会会則第3条)

昨年引き続き出席者を絞ったうえで 2022年度定期幹事総会を開催

6月4日(土)、四ツ谷の主婦会館プラザエフにおいて、経済学部同窓会2022年度定期幹事総会が、コロナ禍を考慮し、参加者を30名に絞って開催されました。主な議事内容は次のとおりです。

①2021年度事業報告

前年度同様、新型コロナウイルスの影響で対面による活動が制約され、定例のイベントもほとんど実施できない状況が継続した。その中でも、会員個々人の判断に基づく、有志による食事会や散策の会など、小規模ながら会員相互の親睦の機会が散見



隣席との距離を保ちながら行われた定期幹事総会の様子。

された。

一方、ICT(情報通信技術)の活用については、特に学生を含む若手会員の勧誘手段としてQRコードを導入し、一定の成果が見られるなど、徐々にではあるが将来に向けての基盤の構築が図られた。

経済学部同窓会創立30周年記念行事の実行委員会が発足し、記念行事については具体的目標が設定され、徐々に実施に移されている。

*特記事項

森嘉兵衛賞に関し、長年同賞の維持に努めてこられた村申仁三郎副会長より、体力の限界から継続が困難との申し出があり、執行部で検討を行った結果、同賞を維持するための体制の困難などから、廃止せざるを得ないとの結論に達し、代表・合同幹事会にて了承された。

②2022年度活動方針

新型コロナウイルスの収束が見通せない中、活動の全面的再開については不透明な状況にある。困難な環境下ではあるが、経済学部同窓会創

立30周年記念行事・事業は可能な限り実施することとし、12月3日(土)に予定の記念行事に関しては、具体的内容を詰めることとしたい。また、すでに着手している記念事業もさらに推進する。

各種イベントは、状況に応じ、小規模でも希望者を募り実施することが現実的と考えられる。また、合同幹事会等の会議は、大学の施設の利用が制限されており、会場確保に財政的負担を伴うため、臨機応変に対面・書面での開催とする。加えて、若手の参加促進のため、開催を週末昼間に変更することも検討する。

同窓会活動へのICTの導入は、避けて通れない課題である。ICTの利用は若手会員勧誘・維持の有効な手段となり、情報発信・交換の機動性にも資すると考えられる。さらに、印刷や郵送等の運営コスト削減にも寄与する。他方、同窓会の発展・維持に努めてこられた多くの既存会員の引続きの支援・協力なくして同窓会が存続し得ないことも紛れもない事実であり、デジタル化と現状維持のバランスを考慮しつつ、計画を進めていく必要がある。

概要は以上のとおりで、すべて了承されました。決算・予算については、次面をご覧ください。

2021年度決算及び2022年度予算

(単位千円)

〈収 入〉	21年度予算	21年度決算	差異	22年度予算
年会費収入	1,974	1,830	△ 144	1,792
終身会費収入	430	456	26	405
寄付金収入（一般活動支援）	200	405	205	250
名刺広告収入	1,000	970	△ 30	900
HP バナー広告収入	120	120	0	120
校友会費納入還付金	14	24	10	14
校友会活動補助金	0	0	0	0
雑収入	0	44	44	20
収 入 計	3,738	3,849	111	3,501
人件費	1,420	1,403	△ 17	1,450
事務用消耗品費	60	70	10	70
事務用備品費	50	163	113	40
事務用印刷費	250	214	△ 36	220
通信運搬費	200	201	1	210
会報発行費	850	810	△ 40	800
会報発送費	340	334	△ 6	320
賃借費	60	59	△ 1	60
渉外費	120	120	0	120
学術奨励事業費	100	100	0	0
雑費	130	185	55	170
支 出 計	3,580	3,659	79	3,460

[前年度よりの繰越金]		1,570		
収入－支出		190		
終身会費次年度繰越金		1,826		
次年度以降会費収入		37		
[次年度への繰越金]		3,623		

(学生支援積立金)

(支出内訳)

前年度繰越金	2,160	各種大会賞金・支援金	55
収入（100周年記念事業＋寄付）	115	卒業生記念品等	50
支出（内訳右欄）	430	メルマガ運用費用	120
次年度繰越金	1,845	振込手数料	13
		記念誌（卒業生）送付	192

平和祈念事業収支繰越金	153	25周年記念事業収支繰越金	268
-------------	-----	---------------	-----

**定期幹事総会で21年度決算・22年度予算を承認
寄付金の増加が会費収入の減少を補い前年度に続き黒字に**

総会で、6月4日（土）に開催された定期総会で、21年度決算・22年度予算が承認されました。概要は以下のとおりとなります。

21年度決算

収入は、年会費及び名刺広告収入が減少した一方で、寄付金収入（一般活動支援）が大幅に増加したことから、対予算費11万円増となりました。

22年度予算

収入は、年会費及び名刺広告収入が減少した一方で、寄付金収入（一般活動支援）が大幅に増加したことから、対予算費11万円増となりました。以上の結果、収支はプラス約19万円と前年度に続いて黒字決算となりました。これにより、財務基盤の健全性を表す繰越金は前期比13万円増の362万円となっております。

22年度予算につきましては、年会費及び名刺広告収入の減少を見込んで緊縮予算を組まざるを得ず、収入減に対応して支出についても一層の削減を図ることとなりました。予算上は、4万円の黒字を見込みますが、今後コロナ禍が落ち着きを見せ、同窓会活動が正常化に向かうことにより、諸経費が増加することも考えられます。会員の皆様による会費の納入及び一般会計への積極的なご寄付を、切に願います。

（事務局長 高森 正雄）



12月3日(土)に開催予定の経済学部同窓会 創立30周年記念行事の概要が固まる

第3回目となる法政大学経済学部同窓会創立30周年記念行事実行委員会が、7月16日(土)午後2時から、法政大学九段校舎の第一会議室において開催され、12月3日(土)に予定されている記念行事に関して、次のような方針が確認されました。

記念行事開催の基本的考え方

①開催形式について

年末に向けて日常の行動が、マスクなどコロナ禍への対策なしの完全な平常に戻る可能性は低いとの想定のもとに、立食パーティーではなく、円卓着席形式による昼食付きの行事・祝宴とする。司会は「自主マスコミ講座」の受講生にお願いする予定。

四ツ谷の主婦会館プラザエフに2フロア(7階「カトレア」及び9階「スズラン」)を午前9時から午後14時まで確保し、スズランをメイン会場としてテレビカメラを設置のうえ、カトレアには映像を流すことで対応する。

②招待者等

法政大学役員、経済学部長・教授会執行部、校友会会長、他学部同窓会代表者等約20名。現役学生(学生会代表等現役学生会員を優先)10名、15名を予定。

メイン行事及びアトラクション

①メイン行事

経友会30年の歩み(平和祈念碑含む)を写真や動画で追う映像を作成し、ナレーションも入れて30分程度の上映を行う。

映像・ナレーションの作成については、常任幹事10名の協力を得ることとしており、画像のデジタル化・編集については、学生の方々から全面的協力を得ることで学生会代表と合意済み。また、ナレーションに関しては、「自主マスコミ講座」の受講生に依頼する予定。

②アトラクション

会場スペースの制約から大人数による催しは困難であるため、①本学経済学部出身の、初音家左橋

師匠による落語及び②本学法学部出身で、紅白出場歴もある「ロス・インディオス」とも共演する歌手、

③その他の行事

キャンパス巡り等のその他の行事については、コロナ禍の進捗が見通せないため、今回は見送ることとする。

法政大学経済学部同窓会 創立30周年記・暫定プログラム

午前10時	開会
午前10時5分	会長挨拶 祝辞
午前10時30分	廣川学部長講話
午前10時50分	(最近の法政大学及び学部の状況について)
午後11時30分	同窓会30年の歩み上映
午後12時	落語(初音家左橋師匠)
午後13時	乾杯・昼食
午後13時30分	歌(奈月れい)
午後13時45分	ご長寿お祝い・学生紹介
午後13時55分	校歌斉唱(リード 奈月れい)
	閉会



初音家左橋



奈月れい

教授会執行部との 定例懇談会報告

7月20日(水)に多摩キャンパスで行われた、教授会執行部との定例懇談会において、次の内容が話し合われました。

- ① 経済学部同窓会創立30周年記念事業である、平和祈念碑の環境改善への協力に対する御礼。
- ② 同記念行事「12月3日(土)」の開催について。
- ③ 森嘉兵衛賞の廃止について。
- ④ 同窓会による卒業生表彰の廃止について。(注)
- ⑤ 同窓会と学生の対話会の実施につ

いて。
⑥ キャンパスにおける同窓会の広報活動について。

いずれも教授会執行部の了承を得ることができ、その後、大学側からの現状報告、大学の今後の予定についての資料配布がありました。

(注) 大学側から、3、4月は大学の業務が最も繁忙になる時期であり、個人情報取扱いに関連した事務負担を負うことが厳しい状況なので、個人情報の開示につながる卒業生表彰は、廃止していただきたいとのお願いが、事前にありました。

新常任幹事からのご挨拶



おかの たかの
岡野 哲也
2004年卒
(備見ゼミ)

仕事で知り合った大先輩からのご紹介で、同窓会に入会しました。人生の折り返しを迎えようとしている今、ちょうど一時的にはありませんが、時間にも心にも余裕ができました。これも縁だと思えます。これまでの人生で受けた様々なご恩に感

謝をし、これからは、私自身が関わる皆さまにお返しが出来ればと思っております。大学を卒業以来勤めている勤務先では、残念ながら法政の輪を感じる事はほとんどありませんが、先輩、後輩、これから社会へと羽ばたいていく学生の皆さん、そして自分を繋ぐ活動を、常任幹事としてできればと思っております。

大樹生命に入社(当時は三井生命)し、支社、本社勤務を経て10年間営業の拠点長を務め、現在は本社コンプライアンス部門に所属。



多摩の息吹

静謐ながら刺激に満ちた
図書館で日々過ごしています

経済学部学生会共同代表を務めさせていただいております、経済学部

経済学科3年の永井健太です。私は昨年度より学生会に所属しており、教授会の先生方、同窓会の方々のご協力のもと、様々なイベントを企画・運営して参りました。先日行われましたダイバート大会は、代表として臨む初の大仕事ということもあり、様々な壁にぶつかりましたが、成功を取めることができました。今後、これまでに包まれていきます。今後も、これまでの経験を活かし、活気あるイベントを開催できるように努めたいと思います。

私は、平日の多くの時間を多摩キャンパス内で過ごしております。中でも、図書館で勉強をすることが最近



ながい けんた
永井 健太
経済学科3年
所属ゼミなし

のマイブームで、授業がない日でも大学に足を運んでいます。窓からは多摩の自然を眺めることができ、緑に囲まれた環境の中で、リラックステイ状態で学習に取り組みます。また、休憩時などに図書館の中を散策してみると、改めてその蔵書の多さに驚かされます。普段は読まない、なんとなく手に取った本から、新しい発見を得ることも多く、図書館は静謐な場所でありながら非常に刺激に満ちた場所であることを、再確認することができました。

最後になりますが、私たちが問題なくイベントを企画・運営することができているのは、同窓会の皆様のお力添えのおかげです。今後も経済学部を盛り上げるために、真摯に活動をして参りますので、これからもご支援をよろしく願います。

第13回学生ディベート大会 決勝戦で熱戦が繰り広げられる

6月25日(土) 12時30分から、経済学部棟305教室で学生25名、教員5名、同窓会員8名、計38名が参加して、第13回経済学部学生ディベート大会が開催された。

廣川みどり経済学部長と学生会代表の田中美雨さんからの挨拶があり、続いて審査方法などの説明と審査委員、選手紹介のあと、決勝戦が始まった。廣川学部長からは、猛暑の中の参加に謝辞が述べられた。(この日、群馬県伊勢崎市で最高気温が40.2度)。



▲優勝 宮崎ゼミ A チーム



◀準優勝 中谷ゼミ B チーム

6月に40度を超えるのは全国で観測史上初。東京も当日は35.4度を記録。)

6月3日、10日、17日の予選では、5ゼミ、9チーム(約45名)が参加し、3つの論題のもとで戦いが繰り広げられ、この日は予選を勝ち抜いた宮崎ゼミ A チームと中谷ゼミ B チームで決勝戦が行われた。

「日本は移民を受け入れるべき」のテーマのもと、両チームは肯定、否定それぞれの立場から白熱した議論を戦わし、立場を替えた論戦も行われた。論理性や資料・データの分析力などを競う熱のこもった戦いは、教員の杉本龍勇先生、馬欣欣先生、同窓会の花澤良三氏、嶋崇氏の4名の審査員による採点の結果、優勝は宮崎ゼミ A チーム、準優勝は中谷ゼミ B チームとなった。

「日本は移民を受け入れるべき」という決勝戦の論題設定は、今回は「難民」をテーマから外したものの、現在の世界政治・経済を揺るがす「ロシアのウクライナ侵攻」によって発生した各国への700万人に達する「難民」(6月8日現在)についても、日本国としてもこれを受け入れるべ

きかどうかを真剣に考える機会を与えてくれた。

日本への難民は必ずしも多いとは言えないが、受け入れに伴う費用・手続き等は相当なことを考慮すると、受け入れを躊躇する向きもあるが、難民当事者である老人、子供、女性の立場を思うと、一人間としては胸が痛む思いがする。また、将来の日本の国際的スタンス(立場)についても、慎重な配慮が求められることになるであろう。

表彰式では廣川学部長からは賞状授与が、村田同窓会会長からは賞金授与がなされ、続いて審査員による講評、

最後に村田同窓会会長の挨拶、学生会代表の永井健太さんからは閉会の挨拶があり決勝大会の幕は閉じられた。

村田同窓会会長からは、日本移民の人たちに向け、日本文化の中で新しい香りと味付けを加えて、独自の文化を熟成させていって欲しいという「ワインの樽」についてのお話があった。閉会挨拶のあと、廣川学部長が今大会の運営を担当した学生会代表と役員計4名の労をねぎらった。

参加チームや企画の運営に携わってきた学生会役員の皆さん、新学期早々の奮闘ご苦労さまでした。

(文/写真・菅野里見)

第13回学生ディベート大会に参加して

経済学科3年 学生会代表 永井 健太

同窓会、教授会をはじめとした多くの方々のご協力を賜りまして、第13回学生ディベート大会を無事成功させることができました。大会に関わっていただいたすべての方に厚く御礼申し上げます。

去年は新型コロナウイルスの影響で開催することができず、学生は十分なノウハウのないまま、手探りで準備を進めることを余儀なくされま

した。

しかし、今回は参加者、学生会それぞれの試行錯誤の末に、大白熱のディベート大会を開催できたことを、運営団体の代表として非常に嬉しく思っております。

これからもイベントを通して積極的に法政大学経済学部を盛り上げていく所存です。今後ともご支援を何卒よろしくお願い致します。

経済学部教育・研究体制一覽

2022年7月現在の
経済学部教授陣と専攻分
野を紹介します。
(50音順)

【経済学科】

- 阿部 俊弘 教授 統計科学
- 飯野 厚 教授 応用言語学、英語教育学
- 伊藤 健彦 准教授 社会心理学
- 岡部 雅史 教授 環境科学、生物学
- 小黒 一正 教授 財政学、公共経済学
- 小沢 和浩 教授 情報処理
- ジョン・カレンガ 准教授 西洋経済史
- 河村 真 教授 産業組織論、応用計量経済学
- 黒田俊太郎 教授 日本文学
- 後藤 浩子 教授 イギリス社会思想史
- 小林 克也 教授 地方財政論
- 酒井 正 教授 労働経済学
- 坂本 憲昭 教授 制御理論
- 佐柄 信純 教授 数理経済学、函数解析学
- 篠原 隆介 教授 公共経済学、ミクロ経済学、ゲーム理論
- ゲーム理論
- 芝田幸一郎 教授 ペルー考古学、人類学、ラテンアメリカ研究

- ロバート・シンクレア 客員教授 物理学、理論物理学、数学
- 菅 富美枝 教授 契約法、消費者法、イギリス法、法社会学
- 菅 幹雄 教授 経済統計
- 菅原 琢磨 教授 社会政策論、医療経済学、医療関連産業の産業組織論
- 杉本 龍勇 教授 スポーツ経済学
- 石 タナカ・ジェイ 准教授 中国文学
- 石 碩 准教授 中国文学
- 田村 理香 教授 アメリカ文学
- 張 欣 教授 中国文学
- 中谷 安男 教授 応用言語学
- 長原 豊 教授 経済史・経済理論、社会思想
- 西澤栄一郎 教授 環境政策論
- 新田 誠吾 教授 19世紀末から20世紀初頭のドイツ文学
- 橋本 到 教授 フランス語、フランス文学
- 濱秋 純哉 准教授 公共経済学、応用計量経済学
- 平井 俊行 教授 ゲーム理論、ミクロ経済学、公共経済学
- 平瀬 友樹 准教授 経済理論形成史
- 廣川みどり 教授 社会的選択論、公共経済学
- 藤田 貢崇 教授 物理学
- 松波 淳也 教授 環境経済学、理論経済学

【国際経済学科】

- 宮脇 典彦 教授 経営統計学、経営科学、データ解析
- 八木橋敬司 教授 マクロ経済学、国際マクロ経済学、応用計量経済学
- 山崎 達朗 教授 英語学・社会言語学
- 山崎 友紀 教授 資源・環境工学、化学、理科教育
- 山田 快 准教授 スポーツ心理学、スポーツコーチング学
- 池上 宗信 教授 開発経済学
- 奥山 利幸 教授 理論経済学
- 近藤 章夫 教授 経済地理学
- マニエシュ・シャルマ 准教授 経済学、コーポレートファイナンス、日本経済
- 進藤理香子 教授 ヨーロッパ経済論
- ジェス・ダイヤモンド 教授 ファイナンス、マクロ経済学、労働経済学
- 高橋 秀朋 教授 金融、ファイナンス
- 武智 一貴 教授 国際経済学
- 田村 晶子 教授 国際経済学、マクロ経済学、応用計量経済学
- 富永 靖 准教授 国際関係論
- 倪 彬 准教授 国際経済学、開発経済学、応用計量経済学
- 馬場 敏幸 教授 アジア経済、技術移転、技術経営

【現代ビジネス学科】

- ブー・トゥン・カイ 教授 国際マクロ経済学の理論と実証
- 馬 欣欣 教授 中国経済論、労働経済学
- 松野 響 教授 比較認知科学、実験心理学
- 森田 裕史 准教授 マクロ経済学、時系列分析
- 井上 祐樹 准教授 経営戦略、イノベーション・マネジメント
- 梅津 亮子 教授 管理会計、原価計算
- 岸 牧人 教授 監査論
- 胥 鵬 教授 コーポレート・ファイナンス、ガバナンス
- 杉浦 未樹 教授 世界経済史
- 鈴木 豊 教授 契約理論、理論的産業組織論、企業の理論
- 砂田 充 教授 産業組織論、企業経済学
- 竹口 圭輔 教授 財務会計
- 武田 浩一 教授 金融論
- 田中 優希 教授 財務会計
- 朴 綜玄 教授 地理学(都市地理学)
- 古澤 直人 教授 日本中世史
- 宮崎 憲治 教授 計量経済学、マクロ経済学
- 明城 聡 教授 産業組織論、応用統計学
- 湯前 祥二 教授 ファイナンス
- ジュリア・ヨン グ教授 国際関係企業史

経済学部職員人事

■経済学部事務課

【専任職員】

- 《転出》 主任 奈良 明弘 社会学部事務課 課長

《転入》

- 主任 飯塚 朋子 リカレント・通信教育センター 事務部通信教育部事務課より (以上22年6月1日付)

■経済学部事務課資料室担当

【嘱託職員】

- 《着任》 経済学部事務課 主任 竹中 官 (22年6月1日～23年5月31日)
- 大塚 孝子 (22年7月1日～23年6月31日)

【紹介予定派遣】

- 多摩資料室 《着任》 浅川 直子 (22年4月1日～7月31日)





全国の会員から事務局に寄せられた
お便りを紹介します
()は西暦年です

北海道から

川南 卓也(17年卒)

岩見沢市 44歳

元プロ野球選手が登場する動画がインターネット上で配信されています。

現在、プロ野球OB約1500人が所属するプロ野球OBクラブ(法政出身の江本孟紀さんが顧問を務めています)の公式サイト『プロ野球OBクラブチャンネル』では、法政野球部主将を務めた中根仁さん(中根さんについては、会報第75号の通教支部だよりの中にも触れております)と小早川毅彦さんによる法政対談で、小早川選手が同じく法政出身で先輩の江川卓投手から逆転ホームランを放った話のほか、北海道でも

プレーされた大引啓次さんと中根さんとの「元主将对談」、バットを持った小早川さんや中根さんの打撃解説を視聴できます。

『プロ野球OBクラブチャンネル』では、田淵幸一さん、高代延博さん、G・G・佐藤さんなど、法政出身選手が出演されていますので、是非ご覧ください。

深井 信朗(61年卒)

枝幸町 85歳

会報第85号が届いたGWは、オホーツク海側にある自宅の庭のコブシが丁度満開、雪解後初仕事の庭の整理に汗している時でした。

志願者数が10万人超とか、新入会員勧誘のため在校生に新パンフとか、そして創立30周年記念事業、特に常任監事さん3人による造園作業は、「ウクライナ戦争」とか今の世の中の救い難い状況の中で、私の胸の内を何と明るくしてくれたことか。
30周年記念事業成功を祈っています。

茨城から

関口 衛(62年卒)

坂東市 85歳

平和祈念碑周囲の環境改善作業、

常任監事の3人の方々大変ご苦労様です。大切な祈念碑です。風化させないことが大事。近くなら私もお手伝いしたいです。

埼玉から

川上 良一(92年卒)

越谷市 63歳

新卒業生の入会者数の少なさに驚きました。若い瞳には同窓会が老害渦巻く尚歯会に映るのでしょうか。5月30日には、私も卒業30周年を迎えます。この30年というスパンを如何に捉えればよいのでしょうか。戦艦大和の特攻出撃から私の新制高校入学までの時間と考えると、それは気が遠くなるほどの星霜です。

在学中の平成3年7月、国の学位規則が改訂されました。学位の種類分けが撤廃され、従来称号に過ぎなかった学士が学位に昇格したのです。それにともなつて平成4年3月から、多くの大学は卒業式を「学位記授与式」に改めました。本学は「学位授与式」と称しています。

平成5年3月の第111回学位授与式に出席したものの、直後催された通信教育部卒業祝賀会には行きませんでした。諸般の理由で気分が白けていたためですが、集合記念撮影

に加わらなかつたことは、今になって考えると勿体ないことをしたものだと思えます。

学位記も受領せず放つたらかしていただところ、学務課から郵送で届けられました。2年次編入ゆえに、規定上卒業生総代に選ばれなかったのは気の毒だという理由で、「経済学士」改め「学士(経済学)」の学位記は、修士用のファイルに収められていました。ここで初めて、私の学業が高い評価を受けていたことを知ったのです。

千葉から

池田 巨(72年卒)

市川市 75歳

「三年ぶりの墓参」

コロナ禍で叶わなかつた佐平さんの墓参を、5月29日(日)ゼミ生OB13名と、先生を慕う同郷の労働経済尾形ゼミのOB波多野章大先輩が特別参加し実施できました。OBの年齢も年を追う毎に先生が逝去された79才に一步ずつ近づきました。人生100年時代を迎え、学問では先生を超えられなかつた分、長寿で超えるべく、昼食会は酒量こそ衰えましたが大いに盛り上がり、楽しいひと時でした。来年は佐平さんの生

誕120年を迎えるに当り、盛大にOB・OG会を本校BTで開催することを約束し、三々五々家路につきました。

角田 勇(64年卒)

流山市 81歳

昭和35年春、千葉県立城東高校から法政大学に入学した。翌年合気道会に入部した。合気道会は、私が入学した年に発足したので、私は1年遅れて入部。同年代だが1年前に入部した人達の後輩になる。差別されて嫌な思いもした。合気道そのものは青春時代の貴重な体験だった。我が人生、社会人としても頑張ったつもりである。

東京から

吉岡 真紀子(99年卒)

江東区 45歳

日本習字かな部四段合格しました。2022年4月より放送大学教養学部選科履修生をしています。

柳 済龍(75年卒)

練馬区 69歳

昭和50年卒(体育会では昭和49年度卒)一高と大学で自動車部7年間過ごしました。

私が4年生の時、江川卓が1年生でした。学生運動(中核派さん)が活動してレポートが多かったです。野球の優賞パレードが懐かしいです。今期もダメそうですが・・・。

胡口 靖夫(69年卒)

渋谷区 80歳

東京の吉岡真紀子様

2021年に日本習字漢字部五段に合格し、教授免許を取得されたとのこと、誠におめでとうございます。2017年より、JMITU日本IBM支部中央執行役員になられたことは、本「会員短信」で拝読しよく覚えています。日本の労働運動が低迷し、連合会長が自民党本部へのこの話し合いに出かけるとは、どうなのでしょう。政治的なことは本通信では書けませんのでこれだけにしておきます。最後に、小生も安保法制違憲訴訟の原告です。2022年5月3日憲法記念日に記す。

松下 善一(65年卒)

立川市 85歳

新型コロナ禍のこともあります。歳のせいも加わりこの2年間はほとんど外出をしませんでした。親しい

友人とも滅多に会うこともなく、もっぱらメールや電話で連絡を取り合う状況でした。

私にとってはこの2年間は、旅行はもとより、人生の終わりに向かう中、思うこともできず、貴重な時間を無為に過ごすことになり悔しく残念でなりません。

ただ一つ、なかなかできなかった終活の一つである断捨離が少し進んだことが、僅かな慰めになっています。

元角 昌三(70年卒)

西東京市 74歳

この季節になると、経友会主催の海外旅行を思い出す。次回(2020年)は、イタリアと企画はしたが実現できません!

私はスペインの時から参加し、ドイツ、ヴェトナム(カンボジア)そして問題のロシアにも行き、最後は北海道、とても楽しい経友会旅行でした。随分以前から続いていたようで、一時は30名以上参加したとも聞きます。さて次回はいつになるか? 参加者は何名になるか? 海外旅行そのものが出来るだろうか? 楽しいはずの旅行ですが、どうしてもネガティブになります。

神奈川から

呉 正男(54年卒)

横浜市 95歳

「平和祈念碑」周辺の環境改善に尽力されておられる事を知り、嬉しくありがたく存じます。

もう友人、知人はなく、来信、電話、FAXも減少しました。コロナ禍により諸会合が中止になり・・・。
よわねをはくな
くよくよするな
なきごというな

を思い出し、胸を張り高貴幸齢者と続けます。神様の差配に従います。(スポーツクラブに入会して50年目です)

加藤毅会長代行先生、久しくお会い致しません。お役目ゴク口ウさんです。
多謝、感謝!

古谷 公利(60年卒)

平塚市 84歳

『小さな楽器がもたらす哲学』!!

60才から始めたハーモニカですが、詞と曲の融合、対峙に魅せられ、今230曲余が演奏可能となりました。愛、失意、病等、人生の喜怒哀楽を、みごと3分間で表現する歌曲は、かけがえのない余世感動の享受でもあります。

ります。コロナ禍前の公民館や老人施設等での独演は中断中ですが、自宅やまれに、川や海辺に繰り出しての独奏は、なんとも楽しい限りです。
 “Sing song make an impression on my life.” 歌唱は感動を我にもたらす(創作・意識)元気のある歌曲を最近作詞・作曲しました。

高橋 新一(91年卒)

綾瀬市 54歳

同窓会と私の現在

同窓会を中心に諸先輩方と共用した、キャンパスを中心にした記憶が懐かしく思い出されます。イベントに参加したり、Facebook等で接点をつなぐことで、そこから現在の社会生活を中心に増幅されて来るのです。さらに発展させるには、そうした種の状態をまた育てる必要があるのです。私が同窓会に参加した時は、社会福祉士として10年程前に再スタートしたのと一致していました。今は、ケアマネジメントとのハイブリッドな統合を目指しています。

兵庫から

松本 英清(64年卒)

西宮市 81歳

剣道部出身で、卒業時体育会史上

初めて野球部投手竜君と二人最優秀選手賞を戴きました。爾来法政大学卒業生として六十年誇りをもって送ってきました。昨年八十才を契機に剣道関係の役職を全て退き、剣道三昧とはいきませんが体力維持の為、早朝ランニング、週二回の稽古を欠かさずやっています。経済学部を創設して頂いた方々に感謝です。法政大学万歳!! そしてありがとう!!

徳島から

辻 三郎(68年卒)

阿南市 85歳

法政大学経済学部同窓会30年創立おめでとうございます。

私儀平成19年に脳内出血をおこし、その後遺症少しでも回復の為リハビリに専念いたしております。まだ左半身不満足な状態です。リハビリしか手段はないとのことで、月、木と週二でデイサービスにお世話になっていますのが現状です。

さて母校のスポーツ、大学駅伝やその他の学生達の活躍が嬉しいです。菅前内閣総理大臣が母校出身とかで大変嬉しかったです。色紙、大切に保管しています。家宝としておいています。

江川総徳さんを偲ぶ

常任幹事 馬鳥 明成

長らく闘病中であった江川さんが、6月6日に他界した。彼とは

同年で、住居が八王子市めじろ台と多摩キャンパスに近いことから、小生が同窓会事務局に勤めていたころ、相談相手になっても良かったり、印刷など手数のかかる仕事を手伝っていた。彼の同窓会への貢献は、なんと

言っても「大学校章入りネクタイ」の制作である。

同窓会グッズとして多くの会員や総長・学部長にも愛用していた。八王子は繊維の街なので、織物工業組合に何度も足を運び、担当者とは折衝したことが懐かしい。

江川さんとの交際で感じたことは、生真面目、几帳面、温厚そして沈着という印象で、彼の怒った姿を一度も見たことがない。会社では「仏の江川」といわれていると言っていたが、本当に仏になっってしまった。

また、六大学野球、ラグビー、箱根駅伝など、母校のスポーツ応援には、人一倍熱心だった。生前彼は、築地本願寺で早々と戒名を付けてもらっていたが、命を閉じることが覚悟した上での行いであつたと思うと、何とも痛ましい。彼が健康であつたなら、同窓会の幹事長、事務局長を担える技倆を持っていたので、今回の逝去が惜しまれてならない。

合掌



お元気なころの江川総徳さん(右から2番目)。
着用しているネクタイは江川さんが企画されたもの

ご自愛ください



会報では広告を募集しています。あいさつ
広告と企業広告があります。お申込みは
事務局へ。広告の掲載料金は同窓会活動に
大いに役立っております。幅広い会員各位
のご協力をお願いいたします。

法政大学経済学部同窓会

会長 村田紀敏

昭和41年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会

会長代行 加藤毅

〒175-0082 東京都板橋区高島平五―三―一二
電話 〇三(三九三〇)八六六五
一九六〇年経済学部経済学科卒(上杉ゼミ)

メガソーラーコンサルタント
愛花創業(株)代表取締役
法政大学経済学部同窓会

幹事長 花澤良三
総務部長

〒290-0141 千葉県市原市ちはら台東二―二―二三
電話 〇四三三六(三三六)二一六〇

昭和46年経済学部経済学科卒

法政大学経済学部同窓会

事務局長 高森正雄

〒191-0002 東京都日野市新町一―八―一九
昭和45年経済学部経済学科卒(渡邊佐平ゼミ)

経済学部同窓会副会長
文化シャッター株式会社

代表取締役
会長 潮崎敏彦

昭和45年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会

副会長 菅野里見

〒192-0913 東京都八王子市北野台三―四六―一一
電話・FAX 〇四二(六三七)二五三五
昭和42年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会

副会長 佐々木範光

〒359-0007 埼玉県所沢市北岩岡一―一七
電話 〇四(二九四二)七八〇六
昭和42年経済学部卒

村串仁三郎法政大学名誉教授 著

「高度成長期日本の国立公園」

―自然保護と開発の激闘を中心に―

(時潮社、三五〇〇円)

著者は一九六九年法政大学大学院(博)単位取得
博士(経済学)
経済学部同窓会副会長・HP副部長

法政大学経済学部同窓会

事業部長 元角昌三

〒188-0011 東京都西東京市田無町一―二二―一六
電話 〇一二〇(四〇八)〇三八
一九七〇年経済学部卒

KGMコンサルティング代表
世界大学ランキングエキスパート

綿貫健治

E-mail:kencom1929@yahoo.co.jp

昭和40年経済学部卒

法政大学経済学部同窓会 財政部会 副部長

会田久仁夫

〒336-0017 さいたま市南区南浦和
三―二七―二二―一〇〇六
昭和42年経済学部卒

NPO法人海外留学生安全対策協議会JCSOS

理事長 池野健一

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷二―十二―十五
日本薬学会 長井記念館ビル一階
電話・FAX 〇三(六四一八)〇七一七・〇七一六
E-mail: info@jeo.org
一九七二年経済学部卒

法友体育会顧問
法友ハンドボールクラブ名誉会長

川崎保之

〒183-0035 東京都府中市四谷三―六四―一二四
電話 〇九〇(二六四八)六三〇一
昭和38年経済学部経済学科卒

経済学部二部会計学研究会OB会

公認会計士
税理士 桑原正信

〒306-0016 茨城県古河市古河五四四―一四七
昭和43年経済学部商業学科卒



立秋を過ぎても続く残暑に

有限会社 エヌケー(江戸川南納税貯蓄組合連合会会長)
NPO法人 日本間質性膀胱炎患者情報交換センター理事長

関 善明

〒134-0085 東京都江戸川区南葛西
六十一番一十四ー五〇一
電話 〇三(五六九六)三五五三
昭和38年経済学部卒(山本ゼミ)

高橋建設興業株式会社

取締役会長 高橋 久之

〒212-0004 神奈川県川崎市幸区小向西町四一六五
電話 〇四四(五一)〇五五七
FAX 〇四四(五五五)一二八七
昭和35年経商卒

コマニー株式会社

会長 塚本 幹雄

〒168-0065 杉並区浜田山四一六一四
セントマークス浜田山一六六
昭和48年経済学部経済学科卒

オフィス曾根

代表 南 章乃

〒105-0013 東京都港区浜松町一ー一六ー四〇四
電話 〇三(三四三七)〇七八五
FAX 〇三(三四三七)〇七八三
携帯 〇八〇(三五六七)〇四三九
Gmail: 753aass@gmail.com

二度栗山興業株式会社

取締役会長 宮内 良雄

昭和26年経済卒

南宗谷カントリー倶楽部

顧問 深井 信朗

〒098-5204 北海道枝幸郡枝幸町歌登南町三八〇一四
電話 〇一六三(六八)二八三六
昭和36年経済学部商業学科卒

文京法友会

相談役 高橋 将昭

昭和34年経済学部卒

事務局COLUMN

札幌、岩見沢の会員との再会

7月上旬、亡母の墓参で故郷の札幌を訪れ、その機会に普段から交友のある会員と3年振りに再会しました。札幌では津金富一さん、藤山範英さん、佐藤栄伸さんと昼食をはさんで歓談。津金さんは今年90歳になられ、クラシックの詳細な歴史を語り、オーケストラの指揮者の楽譜を読むほどの大家です。藤山さんはいつも電話で札幌の近況をお話しいただき、今回も私の生家の昔の地図を図書館でコピーしてくださるなど、大変お世話になりました。佐藤さんは経済学部卒の藤山さんの親しい友人で、この機会に入会していただくことになりました。岩見沢では常任幹事の川南卓也さんと再会し、渡邊瑞江常任幹事もzoomで加わり、同窓会のSNS基盤の構築等について話し合いました。



後列左から藤山さん、佐藤さん、前列左から高森、津金さん

事務局長 高森 正雄

寄付にご協力いただきありがとうございます

30周年記念寄付

22年8月2日現在

合計額は2,082,800円になりました。

単位は円 敬称略

- 〔150,000〕 村串仁三郎
- 〔100,000〕 花澤 良三/村田 紀敏
- 〔50,000〕 加藤 毅/高橋 久之
- 〔42,000〕 落合 弘光
- 〔30,000〕
- 粕谷 文雄/金子 啓三/木村 重俊/桑原 正信
- 小林 三雄/佐々木範光/高森 正雄/南 章乃
- 山口八州士
- 〔20,000〕
- 伊藤 章/伊藤 陽一/大川 成一/大野 文義
- 片倉 昭雄/菅野 里見/潮崎 敏彦/津金 富一
- 亭 舜一/中原 一六/深井 信朗/藤山 範英
- 松尾 正敏/森 義男
- 〔10,000〕
- 会田久仁夫/天野 霊道/池田 巨/井出 益弘
- 岩重 一磨/上村 秀作/榎本 勝治/江間 利男
- 恵良 郁文/大内 勝貞/岡田 英夫/小川 秀子
- 奥田 信正/小倉外志朗/小倉 尚/高 功/押鐘 耕道
- 小田 暉一/兼 博孝/上城 功/萱野 健次
- 川崎 保之/神戸 末平/菊地 政廣/菊池 洋三
- 北田 善徳/久保田誠也/呉 正男/小鷹 俊彦
- 小寺 貞安/後藤 逸男/小宮山欣一/斎藤 和弘
- 斉藤 幸男/佐伯 正/柳原 高広/佐々木貞夫
- 佐藤慶之進/椎名 鐵雄/塩澤 利通/志田 渉
- 嶋木 荻太郎/清水 満/志村 和子/菅井 弘明
- 田口 雅美/竹内 實昭/高橋 章/高橋 将昭
- 谷口 敬/田村 暢浩/杖村 邦夫/谷内 利行
- 辻村 清貴/寺内 敬壽/徳田 訓康/中村 幹雄
- 中村 正鷄/中村 隆輔/成瀬 達一/西澤 寿徳
- 馬島 明成/原木 正司/原田 延治/東 利一郎
- 廣川みどり/藤田 幸雄/松本 郁夫/溝井 進

渡辺 博信 和田 有可 渡邊 公夫	望月 征治 松原 寛 宮原 吉朗	古田 良耕 平谷 文子 広川 忠昭	林崎 猛 波多野 章 林 昌一	土師 卓 當間 仁清 野村 昌一	田中 壮司 高橋由美子 高 広之	高橋 鈴木 啓二 関 克彦	紺野 太作 敷田 健一 島田 浩	小林 保夫 小宮 憲 近藤 和郎	菊池 輝夫 木嶋 伸一 倉澤 壯介	河合 銀一 川南 卓也 河原 壯介	榎本 仁 奥山 勇 小山田隆三郎	天野 進 飯田 治 伊藤富士雄	2,000 日高興一郎 平山 精一	安藤 敬久 牛込 薫 川瀬 義一	3,000 小堀 雄哉 小宮 孝道 関谷 直人	藤田 三郎 松田 智之 森園 博文	坂本 春恵 富岡 正魏 西田 幸隆	伊藤 春雄 江森 利雄 川井 重義	4,000 松本 英清 三郎 隆一 廣野 貴之	辻 三郎 長野 隆一 廣野 貴之	遠藤 宣男 岩淵富士雄 江口 實	新井 広隆 小沢 曉民 千葉 三郎	5,000 飯田 英榮 石山 秀雄 太田 莊一	小野 勝司 田中 正旗 吉田 幹雄	6,000 佐藤 知博 星 規子 秀真 賢治	7,000 綿貫 健治 佐藤 聰明	8,000 吉川 慎一 吉田 洋 和栗 一雄	山本 新治 横田 禮子 横山 昭夫	矢田 義徳 山崎 智恵 山水 克美	光永 裕彦 元原 俊明 森 昭七
-------------------------	------------------------	-------------------------	-----------------------	------------------------	------------------------	---------------------	------------------------	------------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------	-----------------------	-------------------------	------------------------	----------------------------------	-------------------------	-------------------------	-------------------------	----------------------------------	------------------------	------------------------	-------------------------	----------------------------------	-------------------------	---------------------------------	-------------------------	---------------------------------	-------------------------	-------------------------	------------------------

【新入会員】

2022年4月

()は西暦卒年「」は紹介者 敬称略

- 宮川 正大(学生) 関 和真(学生)
- 佐藤 宏樹(22) 佐田 友亮(学生)
- 大竹七千夏(22年卒) 藤井 翼(学生)
- 酒井 堅(学生) 鈴木 貴大(22年卒)

■新入会員からひと言

大竹 七千夏(神奈川県逗子市)

学部では、専門教育や教養教育などの幅広い分野を学ぶことができました。とくに科学ジャーナリズムの分野に興味を持ち、大学での学びを今後も生かしていきたいと思っております。よろしくお願いたします。

【一般活動支援金寄付】

2022年4月 1口 千円

()は西暦卒年 敬称略

- 近藤 光夫 2口(63) 桑原 正信 10口(68)
- 浦野五佐衛門 2口(61) 菅野 里見 5口(67)
- 川南 卓也 1口(17) 萱野 健次 30口(60)

【学生支援金寄付】

2022年4月 1口 千円

()は西暦卒年 敬称略

- 小野 勝司 1口(62) 太田 莊一 1口(77)

【訃報】謹んでご冥福をお祈りいたします

2022年4月

()は西暦卒年 敬称略

ご遺族の方から次の会員のご逝去のご連絡がありました。同窓会発展のために、ご尽力ありがとうございました。

- 井野川 豊(58) 宮司 健志(58)
- 雨宮 政男(72) 佐藤 正人(58)
- 金子 利孝(59) 鈴木 鉄男(58)
- 渡邊 信一(57) 川澄 忠義(60)
- 高市 博司(60) 黄田 康(55)
- 江川 総徳(65) 小林 安正(58)
- 佐々木隆雄(特別会員)

事務局からのお知らせ

対面授業が増すにしたがって、多摩キャンパスの学生の数も増えてきました。ここ経済学部研究棟の駐車場も連日ほぼ満車の状態で、多くの先生方が授業に来られていることが窺えます。ただ、学生であふれかえっていたコロナ前の状態に戻るまでには、なお時間を要するのではと感じております。同窓会の活動も、本格的にというところまでには踏み切れないのが実状です。今後少しでも小規模のイベントを催すことができればと願っております。

ところで、皆様ご高承のとおり、今年の6月半ば以降は梅雨とはほど遠い晴天・酷暑続きでした。私と会田久仁夫さんとで6月18日に平和祈念碑周囲の花壇の花を植え替えましたが、カラカラ酷暑により半分ぐらいが枯れてしまいました。急遽別の花を足して凌いでおります。

最近の活動

4月下旬以降の主な活動は以下のとおりです。

- 5月21日(土) 第6回代表・常任合同幹事会を開催
- 6月4日(土) 2022年度定期幹事総会を開催

- 6月18日(土) 平和祈念碑花壇植替え
- 6月23日(木) 経済学部同窓会創立30周年記念行事 アトラクションについて打合せ
- 6月25日(土) 学生ディベート大会開催 (同窓会後援)
- 7月16日(土) 30周年記念事業・行事实行委員会開催
- 7月16日(土) 第1回代表・常任合同幹事会開催
- 7月20日(水) 教授会執行部との懇談会開催
- 8月26日(金) 事務局にて会報発送作業完了予定

以上のほか、必要に応じて電話やメールを通じた交信により、同窓会の運営等に関する打ち合わせを行いました。

今後の予定

今後は、12月3日に予定されている同窓会創立30周年記念行事の開催に向けて、全力で取り組んで参りたいと考えております。

(事務局長 高森正雄)